

ふるさと



紙魚のつぶやき

木村良一著

青森県の文化シリーズ31 「青森県の政治風土」の紹介

青森県の政治について精通している政治学者・木村良一氏による、選挙の側面から青森の政治風土を論じた書である。

本書は五つの章から構成。

第一章「青森県の政治風土」第二章「津軽選挙とは何か」第三章「津軽地方選挙の実態」第四章「青森県市町村議員の意識と行動」終章「県民の意識改革に期待」。青森県の選挙実態を具体的に記載しているのは第二・三章で、過去の具体的な11事例を紹介しており、第三章では具体的な実態が描かれている。著者の見解は第一章と終章で論じられており、第四章は県

内議員へのアンケート調査の結果がまとめられている。本書を読み、参考になると思われる方々は以下の通り。
①青森県の県民性を研究している
②青森県で政治家志望
③「津軽選挙」を正しく理解したい
④青森談義の際の話題ネタにしたい

著者は第一章を「津軽選挙に代表される過激な選挙」と表現しており、南部人と津軽人の気質を比較すること、「津軽選挙」の特質性を論じている。第二章での11事例においても南部地域のみは見受けられず、津軽のみのものである。結果的に、本書では青森県全体の政治風土ではなく、津軽地方の選挙が主たるテーマとなっている。

著者は長年にわたって青森県の政治を研究してきた

第一人者。事実をできるだけ忠実に記載しており参考にはなる。が、青森県内の選挙違反事例をみると確かに津軽の選挙が全国の中でも特異性を持っていてと見受けられるが、実際に件数や内容の過激さなどを、他地域と比較した検証結果が欲しかった。

公共工事依存の為に地方建設会社にとつて、誰が議員になるかが企業の命運を分けることになるのは、青森県に限ったことではない。

第三章で紹介されている11の事例を、新聞見出しを引用しながら、いくつか紹介したい。昭和40年代から50年代のものであり、最近の事例は含まれていない。

◎「柏村村長選不正代理記載事件」ああ津軽選挙 急性文盲性がはやる。間違っ

ては大変、代筆させる

◎「鱒ヶ沢町二人町長事件」同一筆跡?で無効 選

管決定に〇〇派はカンカン

元選管委員長を収監

◎「市浦村・選挙長『雲隠れ』事件」統一地方選に汚点。

投票の再点検にあたった選挙長が「トイレに行く」と告げて席を離れたまま開票所から姿を消す。

◎「中里町町長選開票乱入事件」またも「津軽選挙」騒ぎ 乱入し投票箱こわす

開票中、千二百人暴れる

◎「不在者投票悪用事件」不在者投票で替え玉 出稼

ぎ者装い発覚 加熱反映

千六百人 投票済

著者は津軽選挙の本質を単なる両陣営の戦いでなく、選挙管理委員会を巻き込んだ「審判ぐるみ役所ぐるみ」にあると指摘している。

「誰が投票したか」でなく「誰が票を数えたか」ということである。

新連座制の適用など、選挙関連の法律も厳しくなり、このような選挙違反も減少

はしたものの、近年の平川市議会選挙にあったような事件が全国ニュースで配信

された。昭和40年代には他地域でも頻繁に起きていた

ようなので、津軽だけが特別とは言えないかもしれないが、「津軽選挙」を探索

観る・聴く

2016 臨泉会選抜小品展

【会期】7月12日(火)〜

17日(日) 11時〜19時(最終日は17時まで)

【会場】鳩居堂4階画廊

(中央区銀座5-7-4、

TEL03・3574・0

058)

【問い合わせ】臨泉会事務局(佐々

木) TEL

03・33

99・93

55



青森県の政治風土

青森県の文化シリーズ 31

木村良一

北方新社